

祭と歴史の宝島 津島

津島市には、春の尾張津島藤まつり、夏の尾張津島天王祭、秋の尾張津島秋まつり、冬の開扉祭(おみと)と四季を通じて祭りが開催されます。中でも尾張津島天王祭は日本三大川まつりの1つに数えられ、津島神社の祭礼として600年近くの伝統を誇り、昭和55年に「尾張津島天王祭の車楽舟行事」が国の重要無形民俗文化財に、平成28年には全国33の「山・鉦・屋台行事」の1つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録され、毎年、宵祭・朝祭の2日間で約20万人以上の観光客が訪れます。



尾張津島藤まつり

4月中旬から5月上旬

かつては「藤浪の里」と言われたほど、藤の花が有名です。藤棚の面積は日本最大級で、5,034㎡と圧巻です。

COMING SOON

春

街を歩けばお寺に当たる!? 寺密度東海三県内ナンバーワン!

※寺密度=市町村面積(km²)÷寺院数により算出

寺密度東海三県内 No.1

平成30年の調査の結果、津島市の寺密度が東海三県で最も高いことが判明!

※平成30年名古屋外国語大学調べ

ナンバーワンを活かして

津島てら・まち御縁結びを定期的に開催



歴まち認定都市

津島市の歴史的風致維持向上計画が国に認められ、全国91都市の1つに選定!



歴史的風致の1つ、尾張津島天王祭

尾張津島秋まつり

10月の第1日曜日とその前日の土曜日

14台の山車と4台の石探祭車がまちに繰り出す賑やかな祭り。山車のからくり人形は変幻自在で、文字を書いたり空を飛んだりするものも。石探祭車は威勢よく鉦や太鼓を打ち鳴らし練り歩きます。



秋



夏

尾張津島天王祭

7月の第4土曜日とその翌日の日曜日

ユネスコ無形文化遺産に登録された日本三大川まつりの1つ。宵祭は約500個の提灯をかけた豪華絢爛な5艘のまさわら船、朝祭は能人形を乗せた6艘の車楽舟が、天王川公園の丸池を進みます。



冬

おみと開扉祭

旧暦2月1日

短時間でダイナミックな力強い夜の祭り。10mの大松明を2本担ぎ津島神社の楼門を一気にぐり抜けます。

